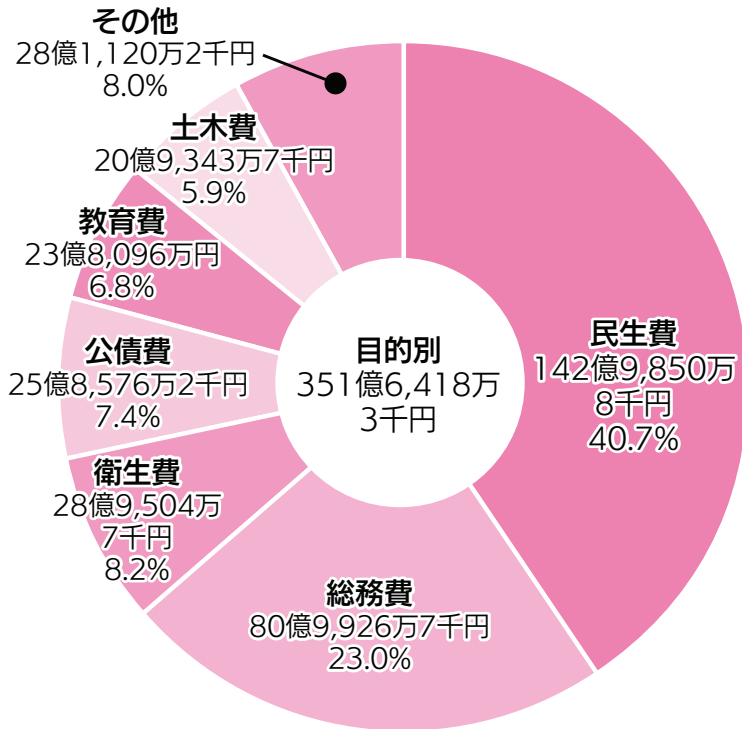


一般会計

歳出 351億6,418万3千円

一般会計歳出総額は、前年度と比較して、24億8,030万8千円(7.6%)の増加となりました。

市庁舎建設事業費や平成30年7月豪雨による災害復旧事業費の増が主な要因です。



平成30年度

決算

平成30年度 決算状況をお知らせします

皆さんに納めていただいた市税などが、どのように使われたか、市の財政がどのような状況であるかについてお知らせします。筑紫野市の財政状況は健全な状態を保っていることが、さまざまな財政指標から分かります。

● 問い合わせ先 財政課

財政力指数

財政力の強さ 5年連続で改善

地方税など自治体の標準的な収入で合理的に行政運営を行った場合にどこまで必要経費が賄えるかを測定する指標です。この指標は「1」に近く「1」を超えるほど財源に余裕があるとされています。

平成30年度は、前年度より0.009ポイント改善しました。

平成30年度は **0.789** (前年度0.780)

● 財政力指数の推移



一般会計

歳入

362億9,915万円

一般会計歳入総額は、前年度と比較して、26億7,945万4千円(8.0%)の増加となりました。

市税や市庁舎建設事業による繰入金(基金の取り崩し)の増が主な要因です。



知っておきたい!

財政用語

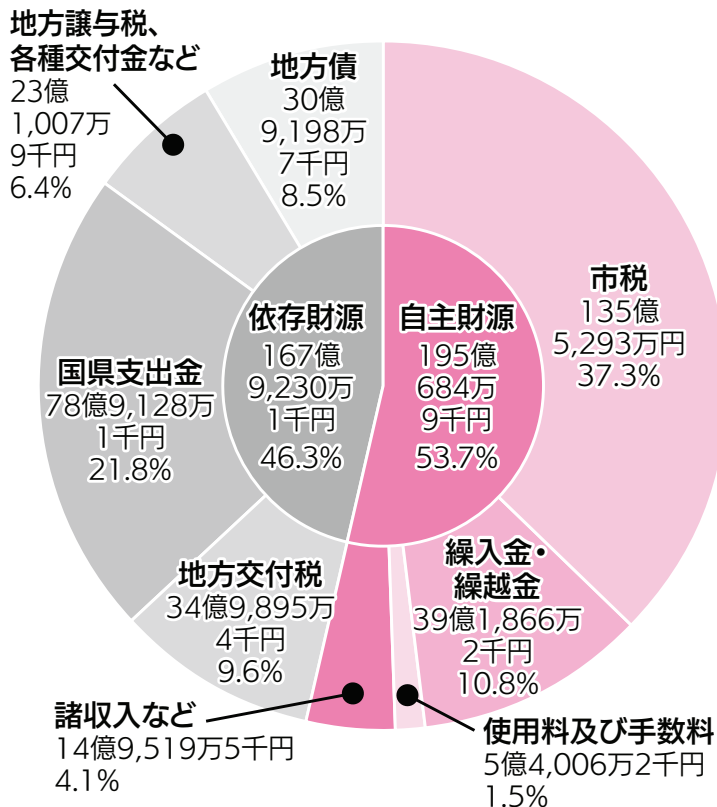
歳入

- 自主財源 市が自主的に調達できるお金
- 市税 市民税や固定資産税など
- 繰入金・繰越金 基金からの繰入金や前年度からの繰越金など
- 使用料及び手数料 市営住宅の家賃や公共施設の使用料など
- 諸収入など 発掘調査受託事業収入や各種教室の受講料など

- 依存財源 国や県からの交付金や銀行からの借入金
- 地方交付税 全国どこでも必要最小限の行政サービスが受けられるよう、国が交付するお金
- 国県支出金 特定の事業のために国や県が交付するお金
- 地方譲与税、各種交付金など 国や県が徴収した税金の一部を市に分配するお金
- 地方債 大きな事業を行うための銀行などからの借入金

歳出

- 民生費 子どもや高齢者、障がい者などの福祉の費用
- 総務費 行政の運営や戸籍、税金徴収、市庁舎建設などの費用
- 衛生費 健康診断や予防接種、ごみ処理などの費用
- 公債費 市の借金の返済などの費用
- 教育費 教育や文化、スポーツなどの費用
- 土木費 道路や公園などの補修や建設などの費用
- その他 議会や農・商工業、消防、災害復旧などの費用



経常収支比率

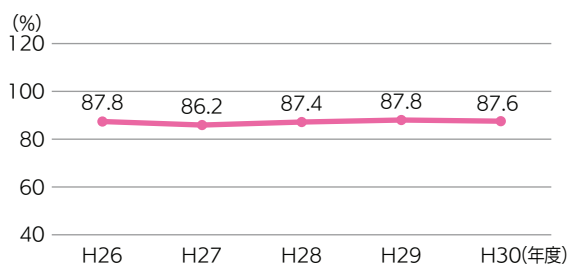
財政の弾力性 0.2ポイント改善

毎年決まって入ってくるお金(地方税、普通交付税など)が、毎年決まって出ていくお金(人件費、借金の返済など)に、どの程度充てられているかを示す指標です。この比率が低いほど財政構造が弾力性に富んでいるとされています。

平成30年度は、地方税の増、公債費の減などにより前年度より0.2ポイント改善しました。

平成30年度は **87.6%** (前年度87.8%)

●経常収支比率の推移



健全化判断比率・資金不足比率

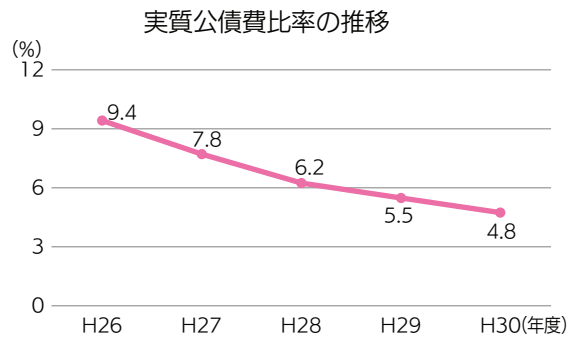
全ての指標で健全な状態

自治体の財政状況を客観的に表し、財政の健全化や再生の必要性を判断する指標です。

本市の比率は国の定める基準を大幅に下回っており、財政状況は前年度に引き続き健全であるという結果となっています。

平成30年度の実質公債費比率は、地方債の返済額の減少により前年度より0.7ポイント改善しました。

平成30年度は **4.8%**（前年度5.5%）



※実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率、資金不足比率は、いずれも比率が生じておらず、健全な状態です。

地方債

市全体の借金は約3億円減少

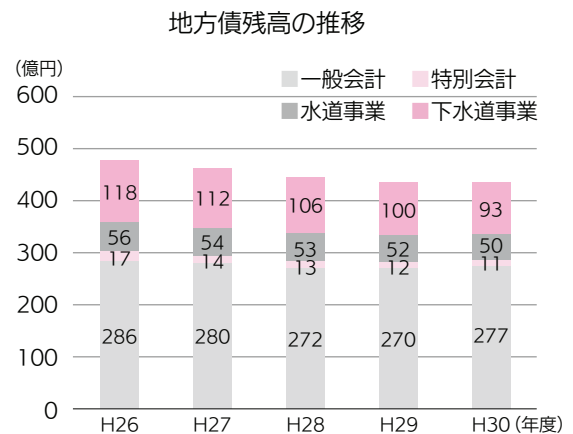
地方債は、自治体の借金のことです。

平成30年度は、前年度に引き続き、計画的な借入を行ったことにより、市全体の地方債の残高が約3億円減少しました。

今後も計画的な借入・償還に努めていきます。

●平成30年度末残高

一般会計	276億6,873万2千円
特別会計	10億7,636万6千円
水道事業	49億9,266万8千円
下水道事業	92億7,324万3千円



基金

市庁舎建設のために基金を活用

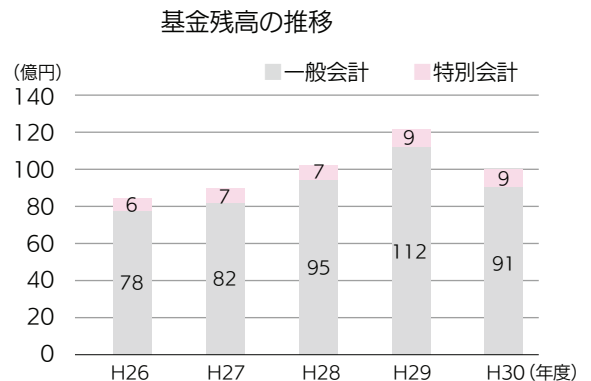
基金は、自治体の貯金のことで、市庁舎建設などの目的のために積み立て・取り崩しを行っております。

平成30年度は、市庁舎建設、災害復旧のために基金の取り崩しを行ったことにより、基金の残高が約21億円減少しました。

今後も、計画的な積み立て・取り崩しに努めていきます。

●平成30年度末残高

一般会計	90億7,407万9千円
特別会計	8億8,279万2千円



とくべつかいけい こうえい きぎょうかいけい けっさんしゅうし じょうきょう
特別会計・公営企業会計の決算収支の状況

主な特別会計決算収支

国民健康保険などの事業は、保険料など特定の収入によって行うため、一般会計とは別に会計を設けています。

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険事業	97億8,948万9千円	97億6,818万6千円
住宅新築資金等貸付事業	1,667万9千円	290万3千円
奨学資金貸与事業	597万7千円	597万7千円
介護保険事業	65億5,259万9千円	65億506万円
後期高齢者医療事業	23億4,048万2千円	22億9,423万2千円
農業集落排水事業	2億2,649万1千円	2億2,649万1千円

公営企業会計決算収支

地方公営企業法の適用を受け、公営企業会計による独立採算制をとっています。

(消費税等込)

会計名		収入決算額	支出決算額
水道事業	収益的収支	21億52万2千円	18億6,091万5千円
	資本的収支	1億9,256万6千円	6億7,939万6千円
下水道事業	収益的収支	23億2,565万2千円	20億8,411万3千円
	資本的収支	7億285万1千円	13億2,862万3千円

かみはんき ざいせいろうんえい じょうきょうし
令和元年度上半期 筑紫野市の財政運営の状況をお知らせします

市では、市民の皆さんが納めた税金の使い道や、市の財政がどのようになっているかを公表しています。今回は、令和元年度の上半期（令和元年9月30日現在）の歳入歳出予算の執行状況を紹介します。

会計名	予算現額A	収入済額B	収入率 B/A×100	支出済額C	執行率 C/A×100
一般会計	318億2,273万8千円	153億8,484万5千円	48.3%	118億3,902万4千円	37.2%
国民健康保険事業	96億6,376万6千円	39億3,286万1千円	40.7%	35億9,374万2千円	37.2%
住宅新築資金等貸付事業	430万4千円	1,595万3千円	370.7%	125万9千円	29.3%
奨学資金貸与事業	774万6千円	189万2千円	24.4%	441万3千円	57.0%
介護保険事業	65億9,737万2千円	25億4,372万9千円	38.6%	27億1,806万7千円	41.2%
後期高齢者医療事業	24億5,912万8千円	5億1,889万3千円	21.1%	10億1,671万3千円	41.3%
農業集落排水事業	2億2,759万7千円	1,452万6千円	6.4%	8,594万7千円	37.8%
二日市財産区	292万9千円	193万5千円	66.1%	3万8千円	1.3%
御笠財産区	3,796万円	10万4千円	0.3%	4万円	0.1%
平等寺山財産区	2,772万8千円	274万1千円	9.9%	20万円	0.7%
合計	508億5,126万8千円	224億1,747万9千円	44.1%	192億5,944万3千円	37.9%

● **市民の税負担状況**

※令和元年9月30日現在の人口 103,947人

・市民一人あたりの市税負担額 74,915円(市税収入済額77億8,724万円に対する額)

● **財産の現在高**

- ・土地 329万1,870㎡ (平成31年3月31日現在)
- ・建物 24万587㎡ (平成31年3月31日現在)
- ・基金 99億5,954万6千円 (令和元年9月30日現在)

● **市債および一時借入金の現在高**

- ・一般会計 267億9,782万6千円 (令和元年度末見込)
- ・特別会計 9億5,352万7千円 (令和元年度末見込)
- ・一時借入金(全会計) 0円 (令和元年9月30日現在)

● 詳しい内容は、市ホームページに掲載しています。 ● 問い合わせ先 財政課 財政担当

■ 筑紫野市庁舎建設事業

44億3,965万5千円

市民の利便性確保やサービス向上、防災・災害の復興拠点、市民協働の拠点として、新庁舎の庁舎棟・立体駐車場などの建設工事などを行いました。

■ 公共建築物個別施設計画策定事業

1,099万4千円

公共建築物の計画的な維持管理を行うため、「筑紫野市公共施設等総合管理計画」に基づき策定しました。



今年1月に開庁した市役所新庁舎

平成30年度 決算

実施した 主な事業

平成30年度施政方針に基づき、平成30年度も多くの事業を実施しました。その中から、市が掲げる5つの政策と、主な事業の概要についてお知らせします。

● 問い合わせ先 企画政策課

■ 地域活性化商品券補助事業

1,000万円

市内の消費拡大・地域経済の活性化を目的に、商工会と連携して実施しました。

■ 農村地域防災減災事業

1,267万3千円

重要施設（幹線道路や鉄道、病院、公民館などの公共施設）に近接した、ため池の耐震診断を行いました。



天山の重ね池、岡田の古池の土を採取するなどして耐震診断を行いました

政策 3 ^{せい かつ} 生活をまもる

■ 認知症初期集中支援推進事業

417万4千円

認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援を行いました。

■ 保健事業（健康診査）

6,555万円

新たに胃がん検診（内視鏡検査）を開始するなど、各種がん検診および基本健診を実施しました。

政策 4 ^{きょう じょ しゃ かい} 共助社会づくり

■ コミュニティ運営協議会補助事業

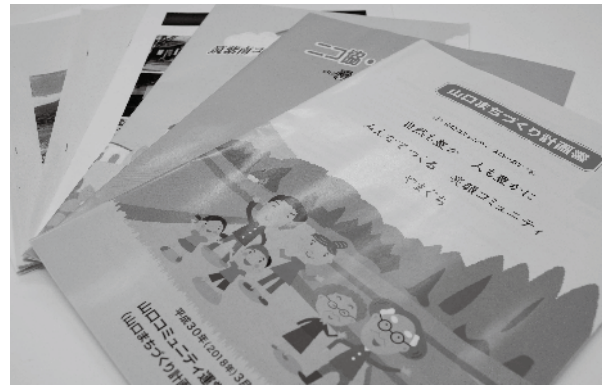
3,961万2千円

コミュニティ運営協議会の運営および活動に補助を行いました。

■ まちづくり支援事業

1,054万8千円

全てのコミュニティ運営協議会で「地域まちづくり計画」が策定されました。



7コミュニティ全ての「地域まちづくり計画」が策定

政策 5 ^{み ら い} 未来をつくる

■ 病児保育事業

1,282万7千円

病院などに併設した施設で児童を預かる病児保育事業を実施しました。

■ 筑紫駅西口土地区画整理事業

2億8,384万8千円

筑紫・若江の各一部において、良好な市街地を形成することを目的とした土地区画整理事業を進めました。



7月末に利用者が1万人を突破した「つくし号」

■ コミュニティバス運行事業

4,690万8千円

公共施設や商業施設、医療機関などを循環するコミュニティバス「つくし号」、御笠自治会バスの運行を開始しました。

■ 五郎山古墳保存整備事業

1,313万9千円

国指定史跡である五郎山古墳の墳丘などの保存整備工事を実施しました。